

平成 23 年度
全国学力・学習状況調査問題を活用した
北海道における学力等調査結果
～概要と課題、そして改善に向けて～

平成 24 年 1 月
稚内市教育委員会

— 目 次 —

1	調査の概要	1
2	調査結果	3
(1)	学力調査(調査問題)	3
①	小学校国語 A(主として知識)	3
②	小学校国語 B(主として活用)	5
③	小学校算数 A(主として知識)	7
④	小学校算数 B(主として活用)	9
⑤	中学校国語 A(主として知識)	12
⑥	中学校国語 B(主として活用)	15
⑦	中学校数学 A(主として知識)	17
⑧	中学校数学 B(主として活用)	22
(2)	学習状況調査(質問紙調査)	25
(3)	質問紙調査票の項目と正答率との関係	29
(4)	学校調査(質問紙調査)	30

1 調査の概要

(1) 調査の目的

- ア 北海道教育委員会が義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- イ 各教育委員会、学校等が、北海道の状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ウ 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善に役立てる。

(2) 調査の対象とする児童生徒

稚内市立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象に実施した。

【小学校調査】 小学校第6学年

【中学校調査】 中学校第3学年

(3) 調査事項及び手法

① 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

〔国語 A、算数・数学 A〕

- ・ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など(主として「知識」に関する問題)

〔国語 B、算数・数学 B〕

- ・ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など(主として「活用」に関する問題)

イ 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

② 学校に対する調査

指導方法等に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

(4) 調査日時・解答児童生徒数

平成23年9月27日(火)～28日(水)

【小学校調査】

1時限目	2時限目	3時限目	
308名	308名	308名	308名
国語A(20分) 算数A(20分)	国語B(40分)	算数B(40分)	児童質問紙(20分)

【中学校調査】

1時限目	2時限目	3時限目	4時限目	
284名	284名	285名	285名	285名
国語A(45分)	国語B(45分)	数学A(45分)	数学B(45分)	生徒質問紙(20分)

(5) 留意事項

本調査は、幅広く児童生徒の学力や学習状況を把握することを目的として実施しておりますが、実施教科が国語、算数・数学の2教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことから、本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部分であることに留意することが必要です。

本調査の結果については、個々の設問や領域等に着目して学習指導上の課題を把握、分析し、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることが重要です。

調査結果の分析については、本市の正答率によって、次のとおり整理しています。

正答率 80%以上	★★★★★	(達 成)
60%以上 80%未満	★★★★	
50%以上 60%未満	★★★	
50%未満	★	

また、北海道の正答率に加え、さらに本市との比較を次のとおり表記しています。

北海道の正答率に対し、

5ポイントを超えて低い	▼▼	(下回っている)
5ポイント以内のマイナス	▼	(ほぼ同程度-やや下回っている)
5ポイント以内のプラス	△	(ほぼ同程度-やや上回っている)
5ポイントを超えて高い	△△	(上回っている)

質問紙調査では、「している」「どちらかといえばしている」と回答した児童生徒の割合が80%を超えたものを「高い傾向」、60%未満のものを「低い傾向」と分類しています。

平成23年度全国学力・学習状況調査の調査問題と質問調査の内容は、国立教育政策研究所のホームページに掲載されています。

<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

2 調査結果

(1) 学力調査（調査問題）

① 小学校国語 A(主として知識)

【学習指導要領の領域別集計結果】

区分	正当率(%)		
	稚内市	北海道	北海道との比較
話すこと・聞くこと	★★★★	93.1	▼
書くこと	★★	59.7	▼
読むこと	★★★	72.5	▼
言語事項	★★★	71.6	△

【設問別集計結果】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正当率(%)		
			稚内市	北海道	北海道との比較
1-1)	漢字を読む(音楽室に移動する。)	学年別漢字配当表の第五学年までに配当されている漢字を正しく読む	★★★★	98.6	△
1-2)	漢字を読む(すばらしい演技におどろく。)		★★★★	96.2	△
1-3)	漢字を読む(むだを省くようにする。)		★★★	69.1	△
1二(1)	漢字を書く(庭にうめの木を植える。)	学年別漢字配当表の第五学年までに配当されている漢字を正しく書く	★★★★	89.7	△
1二(2)	漢字を書く(カラスの数がひじょうに多い。)		★	53.3	▼
1二(3)	漢字を書く(部屋のおんどを記録する。)		★★★★	91.5	△
2	文の中における複数の主語の述語に当たるものをそれぞれ選択する	文の中における複数の主語と述語とを照応する	★★★	60.9	△△
3	スピーチの内容の取り上げ方のよいところを説明したものとして適切なものを選択する	相手や目的に応じて、自分の考えが明確に伝わるように内容を選んで話す	★★★★★	93.1	▼
4	文と文、段落と段落との接続関係が整うように適切な言葉をそれぞれ選択する	文と文との意味のつながりや文章全体における段落の役割を考えながら、接続関係を整えて書く	★★★	66.9	▼
5	主語を置き換えて記事の下書きを書き直す	目的や意図に応じ、表現の効果を考えて書き換える	★	35.7	▼▼
6一	新聞記事の構成を説明したものとして適切なものを選択する	必要な情報を得るために、新聞記事を効果的に読む	★★★	80.7	▼▼
6二	新聞記事の中で問題となっている事実を捉えて書く		★★★	64.8	▼
7	ちょうちんとハンカチの関係を押さえ、感想の一部に適切な言葉を抜き出して書く	詩の情景について、叙述を基に想像しながら読む	★★★	71.9	▼
8一	四つの言葉の中から国語辞典に最初に出てくる言葉を選択する	国語辞典を利用して語句を調べる方法を理解する	★★	56.6	△
8二	国語辞典を利用して調べる言葉を言い切りの形に直して書く		★★★	64.1	△
9	お礼の手紙の下書きの書き直し方を説明したものとして適切なものを選択する	相手や目的に応じ、敬体と常体との違いに注意して書く	★★★	76.5	▼

【課題と改善策】

【表現の効果を考えて書き換える】

- ・目的や意図に応じ、表現の効果を考えて書き換えることに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・書く目的や意図に応じ、自分の考えが明確になっているかを読み手の立場から客観的に評価することが大切である。

〔新聞記事を効果的に読む〕

- ・必要な情報を得るために新聞記事を効果的に読むことに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・新聞記事を教材として取り上げ、見出し・リード・本文などの新聞記事の持つ特徴的な構成を理解し、目的に応じて記事の概要を押えたり、詳細な情報を得たりすることができるように指導することが大切である。
- ・テーマや題材に合わせて複数の新聞記事を比べて読み、書き手の立場や意見の違いなどについて検討することができるように指導することが大切である。

〔敬体と常体との違いに注意して書く〕

- ・相手や目的に応じ、敬体と常体との違いに注意して書くことに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・相手や目的、場面や状況などに応じ、敬体を用いて話したり書いたりすることが大切である。

② 小学校国語B(主として活用)

【学習指導要領の領域別集計結果】

区分	正当率(%)		
	稚内市	北海道	北海道との比較
話すこと・聞くこと	★	43.0	▼
書くこと	★	30.6	▼
読むこと	★	32.0	▼
言語事項	★	33.0	▼

【設問別集計結果】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正当率(%)		
			稚内市	北海道	北海道との比較
1ー	記録係として発言を聞き、理由と意見を整理して簡潔に書く	話し手の意図を捉えながら聞き、意見と理由をまとめる	★	37.8	▼
1二(1)ア	司会として発言を聞き、意見の共通点と相違点を整理して書く	互いの考えの共通点と相違点を考え、司会の役割を果たしながら計画的に話し合う	★★	49.2	△
1二(1)イ			★	27.5	▼
1二(2)	司会の発言の意図を説明したものと適切なものを選択する	話し手の発言を受け止め、話し合いの方向を整理し、司会の役割を果たしながら計画的に話し合う	★★	57.6	▼
2ー	提案に対する相手の意見を取り入れて、自分の考えについての理由を書く	目的や意図に応じ、自分の考えを効果的に書く	★	42.1	▼
2ニ	提案に対する相手の意見を取り下げて、自分の考えと理由を書く		★	19.2	▼
3ーア	二つの伝記を比べて読み、登場人物の心情を表している言葉や文を抜き出して書く	伝記を比べて読み、考えを交流することで、優れた叙述を多面的に捉える	★★	55.7	▼
3ーイ			★	17.5	▼
3ニウエ	二つの伝記を比べて読み、それぞれの書き手を適切に選択して書いたり、植村直己を表す言葉をそれぞれ抜き出して書いたりする	伝記を比べて読み、書き手の違いや書き表し方の特徴に着目して、自分の考えを深める	★	26.4	▼
3ニオカ			★	28.7	▼

【課題と改善策】

【目的や意図に応じて計画的に話し合う】

- ・話し手の意図を捉えながら聞き、意見と理由をまとめることや互いの考えの共通点と相違点を考え、司会の役割を果たしながら計画的に話し合うこと、話し手の発言を受け止め、話し合いの方向を整理し、司会の役割を果たしながら計画的に話し合うことなどに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・司会は、参加者に対して議題や話し合う順序を確認したうえで、話し合う内容に合わせ、論点を整理しながら話し合いを進めることが必要である。
- ・学年の発達段階に合わせて、目的を踏まえた話し合いへ参加する心構えや約束事などについて、相互の理解が深まるように指導することが必要である。

【理由を明確にして自分の考えを書く】

- ・目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に書くことに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・自分と相手の考えの共通点や相違点を明確にしなが、必要に応じ、相手の考えのよさを取り入れて自分の考えを効果的に書くように指導することが大切である。

- ・自分の考えを書くために必要な材料を集めるためのメモや集めた材料を構造的に整理するためのメモなどを工夫し、そのメモを構成の段階や記述の段階などに活用できるよう指導することが大切である。

〔伝記を読んで自分の考えを深める〕

- ・資料を比べて読み、互いの考えを交流することで、優れた叙述を多面的に捉えることや書き手の違いや書き表し方の特徴に着目して、自分の考えを深めることに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・伝記は、文学的な文章と説明的な文章のそれぞれの特性を持っている。取り上げられた人物の事実や事件などを時系列に押えて読むことと、人物が感じたり考えたりしたことなどを想像して読むことができるように指導することが大切である。
- ・自伝は、一般的に人物の行動や信条の描写などを詳細に書くという特徴がある。評伝は、人物の業績や価値などについて概説するように書くという特徴がある。自伝と評伝を比べて読み、それぞれの特徴に着目し、人物像を豊かに捉えて読むように指導することが大切である。
- ・伝記を読み、自らの生き方を振り返ったり、今後のことを展望したりしながら、自分の考えを深めることが重要である。「何かに挑戦して失敗したとき」、「友人やライバルの存在」、「出会いの大切さ」などを観点として読むことが考えられる。また、「書くこと」との関連を図り、小学校生活での体験や見聞を随筆に書くなどの言語活動を設定して指導するなどが考えられる。

③ 小学校算数 A(主として知識)

【学習指導要領の領域別集計結果】

区分	正当率(%)		
	稚内市	北海道	北海道との比較
数と計算	★★★★	78.7	△
量と測定	★★★	69.9	△
図形	★★★★	85.7	△
数量関係	★★★★	79.1	△

【設問別集計結果】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正当率(%)		
			稚内市	北海道	北海道との比較
1(1)	806-9を計算する	繰り下がりのある減法の計算をすることができる	★★★★	87.4	△
1(2)	13.9×7を計算する	小数と整数の乗法の計算をすることができる	★★★★	80.2	△
1(3)	12÷0.6を計算する	整数と小数の除法の計算をすることができる	★★★	70.5	△
1(4)	8×4-2×5を計算する	減法と乗法の混合した整数の計算をすることができる	★★★★	88.0	△
1(5)	5×(2+3)を計算する	()を用いた整数の計算をすることができる	★★★★	93.4	△
1(6)	1と2/7-4/7を計算する	帯分数と真分数の減法の計算をすることができる	★★★★	86.8	△
1(7)	1/4+2/5を計算する	異分母の分数の加法の計算をすることができる	★★★	72.6	△
2(1)	十万四百八を数字で書く	漢数字で表された数を、算用数字で表すことができる	★★★★	82.1	△
2(2)	7.35=7+●/100の●に当てはまる数を書く	小数部分の数の意味について理解している	★★★	77.1	▼
2(3)	1、3、5、7の4枚のカードを使ってつくることのできる、5000に最も近い整数を書く	与えられた4種類の数字で、条件に当てはまる4桁の整数をつくることができる	★★★	72.7	△△
3(1)	はかりが示された場面で、目盛りを読む	はかりの目盛りを読むことができる	★★★	66.0	△
3(2)	9時50分から11時15分までの時間を求める	示された時計の図を基にして、時間を求めることができる	★★★	68.4	▼
4	底辺7cm、高さ3cm、斜辺4cmの平行四辺形の面積を求める式と答えを書く	平行四辺形の面積の求め方について理解している	★★★	65.9	△
5(1)	直方体の面の大きさを選ぶ	直方体の面の形や大きさについて理解している	★★★★	84.6	▼
5(2)	縦7cm、横5cm、高さ2cmの直方体の体積を求める式と答えを書く	直方体の体積の求め方について理解している	★★★★	79.2	△
6	方眼紙上にかかれた6つの四角形の中から、ひし形を2つ選ぶ	ひし形の定義や性質について理解している	★★★★	92.3	▼
7	2つの合同な四角形について、一方を回して置いた場合に、対応する角を選ぶ	2つの合同な四角形について、対応する角を判断することができる	★★★★	80.1	△△
8	棒グラフを読み、児童数が最も多い学校名を書く	棒グラフから、数量が最も大きい項目を読み取ることができる	★★★★	99.0	△
9	100人のうち40%が女子のとき、女子の人数と求める式を書く	百分率の意味について理解している	★	36.2	△△

【課題と改善策】

【数の表現】

- ・小数部分の数の意味についての理解に課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・十分の一の位や百分の一の位の意味を確認したり、小数を分数の形に表したりする活動を取り入れ、0.1=十分の一、0.01=百分の一などの関係を確実に理解させることが重要である。

〔重さ、時間〕

- ・示された時計の図を基にして、時間を求めることに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・大きな目盛りから小さな目盛りへと、それぞれの目盛りが表している重さを考えていくなど、一目盛りの読み方を理解できるようにすることが大切である。
- ・実際に時計の針を動かしてその様子を観察する活動を取り入れて時間の経過をつかんだり、図に表して考える活動を取り入れることなどが考えられる。

④ 小学校算数 B(主として活用)

【学習指導要領の領域別集計結果】

区分	正当率(%)		
	稚内市	北海道	北海道との比較
数と計算	★	44.1	▼
量と測定	★	46.1	▼
図形	★	34.1	▼
数量関係	★	47.6	▼

【設問別集計結果】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正当率(%)		
			稚内市	北海道	北海道との比較
1(1)	直方体の箱の3辺の合計を求め、そのときの荷物サイズを表から読み取る	示されたきまりを基に3辺の長さの和を求め、その数が含まれる範囲を考えて表を読むことができる	★★★	63.0	▼
1(2)	荷物の3辺の合計と重さが示された場合に、送料を求め、どのようにして求めたのかその考えを書く	条件に対応して表を読み、示されたきまりを基に送料を判断して、その考えを記述できる	★	29.2	▼
2(1)	2分音符の長さは、8分音符の長さの何倍かを書く	倍の意味に基づいて、目盛りの数を基に何倍かを求めることができる	★★	54.9	▼
2(2)	2分音符と付点2分音符の長さの関係を正しく表している図を選び、その図が正しいわけを書く	小数倍の意味に基づいて、2量の関係を正しく表している図を判断し、その理由を記述できる	★	9.0	▼
3(1)	正方形の作り方の図を見て、どの部分と同じになっているか、辺と角をそれぞれ選ぶ	紙をぴったり重なるように折る操作の数学的な意味を理解している	★	36.9	▼
3(2)	正方形であることを紙を折って確かめるときに、その折り方で何を確かめたことになるのかを選ぶ	図形を確かめるためには、その図形の定義に当たる条件を確かめればよいことを理解している	★	55.1	▼▼
3(3)	長方形の紙を折ってできた四角形が、どのような図形かを書く	示された操作の意味を理解し、できた図形の形と大きさを判断して、それを記述できる	★	10.2	△
4(1)	5年前と比べて、国内生産台数は増えているが、輸出した台数の割合が減っている年を書く	棒グラフと折れ線グラフの両方が示されたグラフから、必要な情報を読み取ることができる	★	55.3	▼▼
4(2)	2000年の輸出した台数が1995年よりも多いことが分かるわけの説明として、最もふさわしい記述を選ぶ	基準量と割合の両方に着目して、比較量の大小判断の理由としてふさわしい記述を判断できる	★★	59.6	▼▼
4(3)	1980年と1985年は、どちらの年も輸出した台数が輸出しなかった台数より多いことが分かるわけを書く	比較量の大小判断について、示された判断が正しい理由を記述できる	★	6.9	▼
5(1)	最も早く、どのゴンドラに乗ることができるかを書く	示された状況が包含除の場面であることを理解し、計算によって得られる数などの意味を解釈できる	★★	49.7	▼
5(2)	ゴンドラが下がっていくときの高さの違いを表から読み取る	目的に応じて表から情報を読み取ることができる	★★★	75.5	▼
5(3)	ゴンドラが上がっていくとき説明を基にして、ゴンドラが下がっていくときに急に下がるように感じるわけを書く	ゴンドラが上がるときの説明を解釈し、それを下がるときに適用して、説明を記述できる	★	43.7	▼

【課題と改善策】

【事象の観察と複数条件を基にした判断】

- ・図や表から必要な情報を読み取ることや複数の条件を基に筋道を立てて考え、その考えを数学的に表現することに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・表で用いられている用語の意味や左右に隣り合った欄の関係などを確認する活動を取り入れ、表の見方を理解できるようにすることが考えられる。
- ・何に着目し、表からどのような情報を読み取ったか、何を根拠にして考えを進めたり判断したりしたかを明確に述べる必要がある。

〔図の解釈と判断の根拠の説明〕

- ・2量の関係を倍で表現することに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・設問で例示されている図を基に、目盛の数を考えながら[1.5倍]の意味を確認する活動を取り入れることが考えられる。
- ・設問(2)を用いて、示されたきまりにしたがって、2分音符をもとの音符と考えると、付点2分音符の長さを判断することができ、目盛りの数を根拠として判断の理由を説明する必要がある。

〔操作の意味・意図の解釈と図形の判断〕

- ・操作の意味を数学的に解釈することや操作の意図を図形の定義と対応させることに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・算数的活動とは、児童が目的意識をもって主体的に取り組む活動であり、紙を折る操作の意味や目的を児童が意識できるようにすることが大切である。
- ・図形を判断する活動を取り入れ、何を確かめればよいかを考えられるようにすることや、確かめる事柄が図形の定義に当たる条件になっていることを理解できるようにし、直感的に判断するのではなく、論理的に考えを進める経験ができるようにすることが大切である。

〔資料の数学的な解釈と判断の根拠の説明〕

- ・目的に応じてグラフから情報を読み取ることや割合の考えを理解し説明のために必要な事柄を判断することなどに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・グラフには、自動車の国内生産台数が棒グラフで表され、輸出した台数の割合が折れ線グラフで表されている。複数の数量が表されているグラフは、日常生活や他教科の学習でも扱われるものであり、それらのグラフから数値の意味を考えたり、グラフに何がどのように表されているかを確認することが大切である。
- ・棒グラフを見て国内生産台数(基準量)が同じくらいとわかるので、輸出した台数の割合を見れば輸出した台数(比較量)の大小が判断できることを確認し、説明を述べる際にも国内生産台数(基準量)について述べる説明をする必要があることを理解できるようにすることが考えられる。
- ・「輸出した台数」の割合を連続的に変化させて、一方の割合が増えた分だけ他方の割合が減ることを確認したり、一方の割合が50%であれば輸出した台数の割合と輸出しなかった台数の割合が同じであることを確認したりして、50%に着目すれば2量の大小が判断できることに気付けるようにすることが考えられる。
- ・具体的な数量を求めずに示された情報を用いてそれらの大小を判断する課題を扱い、具体的な計算に頼らずに判断する経験ができるようにすることが考えられる。また、何に着目すれば計算結果に頼らずに数量の大小を判断できるかを考える場を設定することが考えられる。

〔事象の数学的な解釈と振り返り〕

- ・示された説明を解釈し、それを別の場面に適応して理由の説明を考え、数学的に表現することに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・問題を解決する際に、計算や計算結果の意味を具体的な場面や状況に対応させて解釈できるようにすることが大切である。立式の根拠や計算結果の表す意味について確認する活動を取り入れることが考えられる。
- ・身の回りの事象を数や量などに着目して観察し、事象を数学的に考察できるようにしたり、数学的に処理することのよさに気付けるようにしたりすることが大切である。
- ・日常生活で目にしたことや感じたことを授業の中で扱うことが考えられる。その際に、事象を図や表に表したり式に書いたりして考える活動を取り入れ、身の回りの事象を数学的に処理する経験ができるようにしたり、身の回りの事象と算数の学習内容との関連を実感できるようにすることが考えられる。

⑤ 中学校国語 A(主として知識)

【学習指導要領の領域別集計結果】

区分	正当率(%)		
	稚内市	北海道	北海道との比較
話すこと・聞くこと	★★★	75.7	▼
書くこと	★★★	76.8	▼
読むこと	★★★★	83.2	▼
言語事項	★★★	76.7	▼

【設問別集計結果】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正当率(%)		
			稚内市	北海道	北海道との比較
1ア	意味を考えて同音異義語を書く(開場)	文脈における意味を考えながら、同音異義語を使い分ける	★★★	75.7	▼
1イ	意味を考えて同音異義語を書く(会場)		★★★★	85.1	▼
2一	話の特徴を説明したのとして適切なものを選択する	表現の仕方に注意して、聞き手に関心をもたせる話をする	★★★★	92.8	▼
2二	他の部への質問を聞き、自分の話に付け加える内容として適切なものを選択する	聞き手の反応を踏まえて、ふさわしい話題を選び出す	★★★	76.2	▼▼
3一	「グラフ参照」という言葉を入れる箇所として適切なものを選択する	知らせたいことを相手に効果的に伝えるために、文章とその根拠となる図表との関係を明示する	★★★★	92.5	▼
3二	生徒会だよりの下書きの書き直し方として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、読み手にとって必要な情報を適切に伝える文章にする	★★★★	85.7	▼
4一	「花が欲しくなった」のは何をするためかが分かる言葉を本文中から抜き出す	文章の展開に即して内容を捉える	★★★★	90.3	▼
4二	「見とがめられる」の意味として適切なものを選択する	文脈における語句の意味を的確に捉える	★★★	71.3	▼▼
4三	「ひろってしまうのはいやだった」と感じた理由として適切なものを選択する	文章の展開に即して内容を捉え、登場人物の心情について考える	★★★	73.1	▼
5一	書き直した文章の説明として適切なものを選択する	身近な生活の中から課題を見付け、材料を集め、自分の考えをまとめる	★★	63.3	▼▼
5二	書き直した内容に合わせて他の部分を書き直す	書いた文章を読み返し、段落相互の関係を整える	★★★	65.4	▼
6一	索引の特徴を説明したのとして適切なものを選択する	索引の特徴や役割を理解する	★★★	83.6	▼▼
6二	索引のページから、調べたい事柄がより詳しく解説されているページを探す	索引を使って、必要な情報が本どこにあるかを判断する	★★★★	94.0	▼
7一	話合いでの発言について説明したのとして適切なものを選択する	相手の立場や考えを尊重し、目的に沿った話合いになるように、適切な発言をする	★★★	80.3	▼
7二	話合いの方向を捉えた司会としての質問を書く	話合いの方向を捉えて、的確に発言する	★★	53.7	▼
8	行書を楷書で書く	漢字の楷書と行書の違いを理解して書く	★★	74.0	▼▼
9一1	漢字を書く(かぜをヨボウする)	文脈に即して漢字を正しく書く	★★★★	81.1	▼
9一2	漢字を書く(祭りの日程をケントウする)		★	28.3	▼
9一3	漢字を書く(あいさつをかわす)		★★	59.0	▼▼
9二1	漢字を読む(筆に勢いがある)	文脈に即して漢字を正しく読む	★★★★	91.8	△
9二2	漢字を読む(生産量が増える傾向にある)		★★★★	84.9	▼
9二3	漢字を読む(目上の人を敬う)		★★★★	84.6	△

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正当率(%)		
			稚内市	北海道	北海道との比較
9三ア	同音異義語から適切なものを選択する(シューベルトの名曲を鑑賞する)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	★★★★	84.1	▼
9三イ	適切な語句を選択する(旅行に備えて綿密な計画を立てる)		★	35.1	▼▼
9三ウ	適切な語句を選択する(いたずらをして、しかられても涼しい顔をしている)		★★★★	91.6	▼
9三エ	適切な敬語を選択する(参観日には父が学校へ来ると申しておりました)		★★★	63.7	▼
9三オ	適切な語句を選択する(問題を解決するために知恵をしぼる)		★★★★	91.4	▼
9三カ	適切な語句を選択する(彼は、困難な仕事をいとも簡単にやってのけた)		★★★★	90.6	▼
9四1	文にふさわしいように語句を活用させて書く(行く)	単語の類別や働きについて理解し、文の意味が通るように単語を活用させる	★★★★	88.7	▼
9四2	文にふさわしいように語句を活用させて書く(きれいだ)		★★★★	93.5	▼
9五1	「いかん」の現代語訳を抜き出す(どうなるか)	古文と現代語訳とを対応させて内容を捉える	★★★★	82.9	▼
9五2	「矛盾」という言葉の使い方として適切なものを選択する		★★★★	87.0	▼

【課題と改善策】

〔同音異義語を使い分ける〕

- ・文脈における意味を考えながら、同音異義語を使い分けることに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・漢字一字一字の意味に注意させ、読み手に意味が正しく伝わるように適切な漢字を選んで書くことを意識させることが大切である。

〔スピーチをする〕

- ・聞き手の反応を踏まえて、相応しい話題を選び出すことに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・スピーチという言語活動を通して、話題を選ぶことについて指導する際には、自分が伝えたいことを的確に伝えられる話題や聞き手が必要とする話題を選ばせることが大切である。

〔文学的な文章を読む〕

- ・文脈における語句の意味を的確に捉えることに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・語彙を豊かにするためには、日ごろから辞書を引いて語句の意味を確かめる習慣を身に付けさせる必要がある。

〔文章を推敲する〕

- ・身近な生活の中から課題を見つけ、材料を集め、自分の考えをまとめることに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・自分の考えを的確に書き表すために、記述の段階で材料を付け加えるなど、文章の内容を見直ししながら、書くように指導することが大切である。

〔索引を読む〕

- ・索引の特徴や役割を理解することに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・実際に資料集めや事典などを用いて、目次や索引のもつ特徴や役割を理解し、必要に応じてそれらを活用させることが大切である。

〔言語事項等〕

- ・言語や言語文化に関する知識・技能を身につけ、文や文章の中で適切に用いることに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・実際に漢字を読んだり書いたりする機会を多くし、習熟を図るようにすることが大切である。
- ・言葉のきまりについては、知識として理解しているだけでなく、日常生活の中で適切に使えるよう、用語を適切に活用させたり、修飾・被修飾の関係を考えて文を整えたりすることなどを実際の使用場面を取り上げて指摘することが大切である。

⑥ 中学校国語 B(主として活用)

【学習指導要領の領域別集計結果】

区分	正当率(%)		
	稚内市	北海道	北海道との比較
話すこと・聞くこと	-	-	-
書くこと	★	47.0	▼
読むこと	★★	62.4	▼
言語事項	★	34.8	▼

【設問別集計結果】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正当率(%)		
			稚内市	北海道	北海道との比較
1一	「ピクトグラム」について説明したものとして適切なものを選択する	文章の内容を正確に捉える	★★★★	93.2	▼
1二	二つのトイレを示すピクトグラムの例を比べ、考えを簡潔に書く	書かれている情報を的確に関連付けて読み、考えを適切に書く	★★	59.9	▼
1三	二つの「ピクトグラム」を比べ、どちらを採用するのかを理由とともに三文で書く	書かれている情報を基に、自分の考えを論理的に書く	★	34.8	▼
2一	段落相互の関係について説明したものとして適切なものを選択する	段落相互の関係を理解し、文章の展開を捉える	★★★	75.9	▼
2二	比喩を用いた表現の内容として適切なものを選択する	表現の仕方に注意して読み、文章の内容を的確に捉える	★★★	70.3	▼
2三	本文を読んで分かったことを一つ取り上げ、Q&Aの形式で紹介する	文章の内容を正確に捉え、提示された形式に合わせて適切に書く	★	42.4	▼
3一	裏表紙の文章から分かることとして適切なものを選択する	文章の内容を正確に捉える	★★	62.2	▼▼
3二	裏表紙や帯や表紙に書かれている文章を手掛かりに、本を特定する	必要な情報を探し、関連させながら読む	★★★	71.7	▼▼
3三	読みたい本を一冊選択し、その本を選択した理由を書く	文章に書かれている事柄を基に、今までの体験や読書の経験と結び付けて自分の考えを書く	★	51.0	▼▼

【課題と改善策】

〔図表を用いた文章を読む〕

- ・書かれている情報を的確に関連付けて読み、考えを適切に書くことに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・物事のよさや特性を論じたり評価したりするためには、複数のものを比較して考えることが効果的である。また、単に印象を述べるだけでなく、関連する文章や資料などを効果的に用いて根拠とし、自分の考えを表すようにさせることが重要である。

〔説明的な文章を読む〕

- ・表現の仕方に注意して読み、文章の内容を的確に捉えることに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・文学的な文章だけでなく、説明的な文章においても表現上の工夫やその効果に目を向けさせることが大切である。比喩や反復などの表現技法に注意して読むことが文章の理解を深めることにつながる。

〔本の表紙や帯などの文章を読む〕

- ・ 文章の内容を正確に捉えることや必要な情報を探し関連させながら読むこと、文章に書かれている事柄を基に今までの体験や読書の経験と結び付けて自分の考えを書くことに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・ 読書活動を豊かにするためには、本の表紙や帯などに示されている情報を活用して、複数の本を比べたり目的に合った本を選んだりすることも大切である。
- ・ 詩歌などを鑑賞する文章・新聞記事に対して意見を述べる文章、友達が創作した物語を批評する文章など様々な形態の文章を書く中で繰り返し指導すると効果的である。

⑦ 中学校数学 A(主として知識)

【学習指導要領の領域別集計結果】

区分	正当率(%)		
	稚内市	北海道	北海道との比較
数と式	★★★	65.3	▼
図形	★	51.7	▼
数量関係	★	47.1	▼

【設問別集計結果】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正当率(%)		
			稚内市	北海道	北海道との比較
1(1)	5/7×3/4を計算する	分数の乗法の計算をすることができる	★★★★	82.2	▼
1(2)	四則計算のうち、数が自然数の範囲では閉じておらず、整数の範囲では閉じている計算を選ぶ	数の範囲を拡張することによって、四則計算の可能性が拡大されることを理解している	★	48.7	▼
1(3)	絶対値が5である負の数を書く	正の数と負の数の範囲で絶対値の意味を理解している	★★★★	80.7	△
1(4)	3-2x(-4)を計算する	加減乗除を含む正の数と負の数の計算において、計算のきまりにしたがって計算をすることができる	★★★	74.2	▼
2(1)	(4a-6)-2(a-3)を計算する	整式の加法と減法の計算をすることができる	★★★	80.0	▼
2(2)	連続する3つの自然数のうち、最も小さい自然数をnとすると、その連続する3つの自然数をそれぞれnを用いた式で表す	数量の関係や法則などを文字式で表現することができる	★★★	66.4	▼
2(3)	青色のテープの長さamは、黄色のテープの長さbmの何倍であるかを、a、bを用いた式で表す	数量の関係や法則などを文字式で表現することができる	★	38.4	▼▼
2(4)	3x+y=7をyについて解く	ある文字について解くことの意味を理解し、等式を目的に応じて変形することができる	★★	65.1	▼▼
3(1)	0.1x+1=1.5を解く	小数を含む一元一次方程式を解くことができる	★★★	72.6	▼
3(2)	2通りに表される数量を文字を用いた式で表し、一次方程式をつくる	2通りに表される数量に着目し、文字を用いた式や数で表し、一次方程式をつくることができる	★	47.8	▼▼
3(3)	連立方程式x+y=4、3x+2y=9の解について正しい記述を選ぶ	連立二元一次方程式の解の意味を理解している	★★	62.1	▼▼
3(4)	連立方程式y=2x-1、y=x+3を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	★★★	65.6	▼
4(1)	垂線の作図で利用されている図形の性質を選ぶ	垂線の作図の方法を図形の対称性に着目して見直すことができる	★	53.3	▼▼
4(2)	正三角形DACを、点Cを中心として時計回りに回転移動して正三角形BECにぴったり重ねたとき、その角度を求める	回転移動の意味を理解している	★	30.1	▼
5(1)	直方体において、与えられた辺とねじれの位置にある辺をすべて書く	空間における直線と直線との位置関係を理解している	★	48.1	▼
5(2)	底面が平行四辺形である高さ10cmの四角柱の底面積と体積を求める	四角柱の底面積と体積を求めることができる	★	32.0	▼
5(3)	与えられた投影図から立体を読み取り、その立体を選ぶ	与えられた投影図から空間図形を読み取ることができる	★★★★	84.1	△
5(4)	球と円柱の体積を比較し、正しい図を選ぶ	球の体積を、球がぴったり入る円柱の体積との関係から理解している	★	41.8	▼
6(1)	平行線の錯角の大きさが等しいことを利用して、角の大きさを求める	1組の平行線に直線が交わってできる角の性質を理解している	★★★★	84.7	▼
6(2)	五角形の内角の和と六角形の内角の和について、正しいものを選ぶ	多角形の内角の和の性質を理解している	★★	61.5	▼

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正当率(%)		
			稚内市	北海道	北海道との比較
6(3)	合同な2つの三角形の対応する角の大きさを求める	合同な三角形の対応する角の大きさを求めることができる	★★★	73.5	▼▼
7(1)	証明で用いられている合同条件を選ぶ	証明を読み、用いられている三角形の合同条件を理解している	★★	57.6	▼▼
7(2)	長さの等しい2本の棒を2種類使って組み合わせた四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ	平行四辺形になるための条件を理解している	★	27.2	▼
8	三角形の外角の和が 360° であることの証明について正しい記述を選ぶ	証明の意義について理解している	★	26.1	△
9	定形外郵便物の料金表から、重量と料金の関係について、正しい記述を選ぶ	関数関係の意味を理解している	★	28.1	△
10(1)	比例 $y=-3x$ のグラフを選ぶ	比例の式とグラフの関係を理解している	★★★	63.1	▼
10(2)	比例 $y=-2x$ のグラフをかくために、原点以外の点の座標を求める	比例の式からそのグラフ上にある原点以外の点のx座標とy座標の値の組を求めることができる	★	45.8	▼
10(3)	反比例 $y=4/x$ のグラフを完成する	反比例のグラフをかくことができる	★★★	72.2	▼
11(1)	「高さが高くなるのにもなって、気温が一定の割合で下がる」と考えたとき、高さ と気温の関係を表したグラフを選ぶ	事象における2つの数量の変化や対応の様子を捉え、その様子を表すグラフを指摘できる	★★	61.6	▼
11(2)	一次関数 $y=4x-3$ について、xの係数が4 であることからいえることとして、正しい ものを選ぶ	一次関数 $y=ax+b$ のaが、xが1増加したときのyの増加量を表していることを理解している	★	49.8	▼▼
11(3)	一次関数の表から式を求める	一次関数の表から、xとyの関係を $y=ax+b$ の式で表すことができる	★	37.5	▼
11(4)	比例 $y=2x$ のグラフを基に $y=2x-4$ のグラフ をかく方法として、正しい記述を選ぶ	比例のグラフと一次関数のグラフの 関係を理解している	★	45.7	▼
12	$V=RI$ を基に、電圧Vが一定のとき、抵抗 Rと電流Iの関係について、正しい記述を 選ぶ	与えられた式を基に、事象における 2つの数量の関係が反比例であること を判断できる	★	24.7	▼
13(1)	2枚の硬貨を同時に投げるとき、2枚とも 表の出る確率を求める	事象の起こる確率を求めることができ る	★	48.4	▼
13(2)	生徒35人が100点満点の試験を受け、 得点の中央値が50点だったことにこと について、必ずいえる記述を選ぶ	中央値の意味を理解している	★	26.8	△
13(3)	ある月の日ごとの最高気温の分布を表 したヒストグラムについて、正しいもの を選ぶ	目的に応じてヒストグラムから資料 の傾向を読み取ることができる	★★	61.1	▼

【課題と改善策】

〔分数の乗法の計算・正の数と負の数とその計算〕

- ・分数の乗法の計算や数の範囲を拡張することによって、四則計算の可能性が拡大されることの理解に課題がある。
- ・加減乗除を含む正の数と負の数の計算において、計算のきまりにしたがって正しく計算することに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・数の範囲を正の数と負の数まで拡張した場面で、絶対値の意味、四則計算の可能性について取り上げて数の概念を深め、計算の意味や方法を理解することが大切である。
- ・加減乗除を含む計算では、正の数と負の数の範囲でも、小学校で学習したことと同様に、乗除を加減より先行するという計算のきまりにしたがって正しく計算することが大切である。

〔文字式の計算とその利用〕

- ・数量の関係や法則などを文字式で表現することができるようにすることに課題がある。
- ・ある文字式について解くことの意味を理解し、関係を表す式を方程式の性質を用いて目的に応じて

変形することに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・事柄や数量の関係を文字式に表したり、文字式で表された事柄や数量の関係を讀んだりすることが大切である。具体的な数や言葉を使った式を利用して数量の関係を捉え、文字式で表したり、その意味を解釈したりできるようにすることが大切である。
- ・2つ以上の文字を含む等式の変形では、ある文字について解くことの意味を理解することが大切である。また、式変形の目的を明確にしたうえで、等式の性質などの根拠に基づいて正しく変形することが大切である。

〔方程式の解き方とその利用〕

- ・小数を含む一元一次方程式を解くことや、2通りに表される数量に着目し文字を用いた式や数で表し一次方程式をつくること、連立二元一次方程式の解の意味の理解などに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・方程式は、変数（未知数）を含んだ相等関係についての条件を表した等式であり、その条件を満たす値が方程式の解であることを理解することが大切である。
- ・小数を含む一元一次方程式の場合、左辺と右辺に同じ数をかけて、小数を含まない形に変形してから解くなど、等式の性質を利用して方程式を工夫して解くことが出来るようにすることが大切である。
- ・「男子の人数」に着目し、問題の中の「学級の全部の人数は37人」、「男子は女子より5人多い」という数量の関係から、女子の人数を x 人とするとき男子の人数は $(37-x)$ 人と $(x+5)$ 人の2通りに表されること、そしてそれらが等しい関係にあることを確認する場面を設定することが考えられる。
- ・2つの二元一次方程式について、それぞれの方程式を満たす x 、 y の値の組を求め、表にまとめるなどして、2つの方程式を同時に満たす組の値を見出す活動を取り入れることが考えられる。

〔垂線の作図・回転移動〕

- ・垂線の作図の方法を図形の対称性に着目して見直すことや回転移動の意味の理解に課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・基本的な作図では、図形の対称性や図形を決定する要素に着目して、その方法について考え、なぜその方法で作図出来るかを説明することが大切である。作図の手順とその基になっている対称な図形の性質を理解することが大切である。
- ・図形を紙で作って実際に移動させたりコンピュータを利用して移動させたりするなどして図形の平行移動、対称移動、回転移動を視覚的に理解出来るようにすることが必要である。

〔空間図形〕

- ・空間における直線と直線との位置関係についての理解や柱体の底面積と体積を求めることに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・空間図形の学習では、直線と直線との位置関係を調べるには、2つの直線が交わるか交わらないかを調べたり、同一平面上にあるかどうかを調べたりすることが必要である。
- ・柱体の体積の学習では、全ての柱体の体積は、(底面積)×(高さ)で求められることを理解し、

底面と高さを捉え、情報を適切に選択して体積を求めることが大切である。

〔平面図形の基本的な性質〕

- ・多角形の内角の和の性質の理解や合同な図形の対応する角の大きさを求めることに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・多角形の内角の和の学習では、多角形の内角の和の性質として、頂点の数が1つ増えると内角の和が 180° 増えることを理解することが大切である。
- ・2つの三角形を用意し、相等関係を見出されている辺や角に着目し、対応する辺や角が明らかになるような位置に三角形を移動する場面を設定することが大切である。

〔三角形の合同条件・平行四辺形になるための根拠となる事柄〕

- ・証明を読み、そこに用いられている三角形の合同条件を理解することに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・2つの三角形について対応する辺や角の相等関係を位置関係で捉え、証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を具体的な図に即して捉えることが必要である。

〔比例・反比例のグラフ〕

- ・比例 $y = ax$ について、式とグラフの関係の理解や比例の式からそのグラフ上にある原点以外の点の x 座標と y 座標の値の組を求めることに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・比例 $y = ax$ のグラフは原点を通る直線であり、その傾きは比例定数 a の値によって決まることを理解することが大切である。
- ・比例の学習を通して、関数のグラフは関数関係を満たす x 、 y を座標とする点の集合を座標平面に表したものであることを理解することが大切である。

〔一次関数の表・式・グラフ〕

- ・一次関数 $y = ax + b$ の a が、 x が1増加したときの y の増加量を表していることへの理解に課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・関数の変化の割合は x の増加量に対する y の増加量の割合であり、一次関数ではその値が常に一定であることを理解することが大切である。

〔関数関係の判断〕

- ・与えられた式を基に、事象における2つの数量の関係が反比例であることの判断に課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・本問題では、 V を一定とみて R と I が反比例の関係にあると読み取るだけでなく、 R を一定とみて I と V が比例関係にあると読み取るなど、3つの数量のうちの1つを一定とみて、残りの2つの数量の関係を調べる活動を取り入れることが考えられる。

〔確率の求め方・代表値の意味・ヒストグラム〕

- ・事象の起こる確率を求めることに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・事象が起こる確率を数学的に求める場合、起こり得るどの場合も同様に期待されるという「同様に確からしい」ことの意味を理解し、場合の数を正しく数えあげることが大切である。

⑧ 中学校数学B(主として活用)

【学習指導要領の領域別集計結果】

区分	正当率(%)		
	稚内市	北海道	北海道との比較
数と式	★★	62.1	▼▼
図形	★	45.9	▼▼
数量関係	★	41.5	▼

【設問別集計結果】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正当率(%)		
			稚内市	北海道	北海道との比較
1(1)	1月のキャップの回収量を比べて、平成22年度は平成21年度より何個増えたかを選ぶ	グラフから必要な情報を読み取ることができる	★★★	72.9	▼
1(2)	キャップの入った回収箱の重さが分かっているとき、キャップの個数を求めるために調べるものを選び、それを求める方法を説明する	問題解決の方法を数学的に説明することができる	★	37.9	▼▼
1(3)	キャップの個数とキャップの入った回収箱の重さの関係について、正しい記述を選ぶ	問題解決の過程を振り返って、事象を数学的に解釈することができる	★	36.1	▼
2(1)	連続する3つの自然数が11、12、13のとき、それらの和が中央の自然数の3倍になるかどうかを確かめる式を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	★★★	69.7	▼▼
2(2)	説明を読み、 $3n+3$ を $3(n+1)$ に変形する理由を完成する	与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる	★★	62.0	▼▼
2(3)	連続する5つの自然数の和が中央の自然数の5倍になることを説明する	発展的に考えて説明することができる	★★	54.5	▼
3(1)	タレスの方法を読み、点Aから船Bまでの距離を何に置き換えて測ればよいかを答える	事象を数量や図形に着目して観察し、その特徴を的確に捉えることができる	★★★	67.0	▼▼
3(2)	2つの三角形が合同になることを証明するための根拠となる事柄を証明する	事象を数学的に解釈し、成り立つ事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することができる	★	32.4	▼▼
3(3)	タレスの方法を発展するための考えとして、正しい記述を選ぶ	問題解決の方法を振り返って考え、発展的に考えることができる	★	41.5	▼▼
4(1)	証明を読み、証明の「仮定」に当たる事柄を選ぶ	証明で用いられている根拠となる事柄を明確に捉えることができる	★	53.5	▼▼
4(2)	2つの線分の長さが等しいことを、二等辺三角形を利用して証明する	与えられた証明を振り返り、類似の場面で証明することができる	★	33.7	▼▼
4(3)	証明した2組の線分の長さがそれぞれ等しいことを根拠として、証明したこと以外に新しく分かることを選ぶ	証明を振り返り、新たな性質を見いだすことができる	★	47.2	▼▼
5(1)	2人の球速の範囲をそれぞれ求める	範囲の意味に基づいて表から必要な情報を読み取ることができる	★	29.5	▼
5(2)	ヒストグラムの特徴を基に、時速131kmの球速に的をしばって練習することが適切でない理由を説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	★	25.2	▼▼
5(3)	2人の投手の直球だけのヒストグラムを比べて読み取れることを選ぶ	資料の傾向を的確に捉えることができる	★	47.7	▼▼

【課題と改善策】

〔事象の数学的な解釈と問題解決の方法〕

- ・ 問題解決の方法を数学的に説明することや問題解決の過程を振り返って数学的に解釈することに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・問題解決に必要な情報や方法を示し、それをを用いて解決出来るようにするだけでなく、問題解決の方法それ自体を説明出来るようにすることが大切である。
- ・問題解決の過程を振り返り、どのような数学的な性質や関係を活用したかを話し合う場面を設定することが大切である。

〔説明を振り返り、発展的に考えること〕

- ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることや与えられた説明を振り返って考え式変形の目的を捉えること、発展的に考えて説明することに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・数や図形について成り立ちそうな事柄を機能的に見出す活動においては、予想した事柄が別の場合でも成り立つかどうかを確かめ足り、予想した事柄の主部と述部を「～は、……になる（である）。」という命題の形で表現したりして考察の対象を明確に捉えることが大切である。
- ・文字式を用いた説明を読む際には、説明すべき事柄に照らし合わせて式変形の目的を捉えることが大切である。
- ・ある事柄を文字式を用いて説明するだけでなく、説明したことを振り返り、条件を変えるなどして発展的に考えて新たに分かる事柄を見出すことが大切である。

〔事象を図形的に解釈し発展的に考えること〕

- ・事象を数量や図形に着目して観察しその特徴を的確に捉えることや事象を数学的に解釈し成り立つ事柄の特徴を数学的に説明すること、問題解決の方法を振り返って発展的に考えることに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・日常的な事象を観察して、図形やその要素の関係を見出し、図形の条件や性質としてその特徴を捉えることが出来るようにすることが大切である。
- ・直接測りにくい部分の長さを求めるために、三角形の合同を用いて直接測りやすい部分に置き換えるという考え方をを用いていることを確認する機会を設定するなど、そこで用いられている見方や考え方に着目出来るようにすることが大切である。
- ・数学を活用して問題を解決するでは、問題を解決するだけでなく、問題解決の方法を振り返り、より一般的な方法を考えることが大切である。

〔証明を振り返り、類似の場面で証明する〕

- ・証明で用いられている根拠となる事柄を明確に捉えることや、与えられた証明を振り返り類似の場面で証明すること、証明を振り返り新たな性質を見いだすことに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・証明の学習においては、証明を書くこととともに、証明を読むことも大切である。証明を読む際には、証明で用いられている根拠となる事項を明確に捉えることが大切である。
- ・与えられた証明を振り返って考えることで、そのしくみを捉え、類似の場面で証明する事が大切である。又、与えられた証明では、仮定から結論がどのように導かれているかを理解することが必要である。
- ・証明で用いられている根拠となる事柄や証明の結論に着目し、新たな性質を見付けることが出来る

ないかを考える機会を設定することが大切である。

〔情報の適切な選択と判断〕

- ・必要な情報を適切に選択することや資料の傾向を的確に捉えること、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することなどに課題がある。

《学習指導に当たって》

- ・資料を整理して情報を読み取り、それを基に判断出来るようにする。指導にあたっては、例えば平均値について、分布の形状によって代表値として相応しくない場合があることを理解出来るようにする。
- ・説明すべき事柄とその根拠を明確に区別し、[(A)だから(B)である]のように的確に説明出来るようにすることが大切である。
- ・不確定な事象について目的に応じて資料を収集して整理し資料の傾向を読み取ったり、必要に応じて資料を分類・整理し直したりすることによって問題を解決することが大切である。

(2) 学習状況調査(質問調査票)

① 小学校調査

○「高い傾向」を示した質問項目

質問番号	質問事項	稚内市	北海道
(1)	朝食を毎日食べていますか	93.1	94.7
(2)	学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか	89.9	88.2
(4)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	90.5	88.1
(5)	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか	92.9	93.1
(8)	将来の夢や目標を持っていますか	82.8	83.2
(15)	携帯電話で通話やメールをしていますか(持っていない、全く、または、ほとんどしていません)	79.8	77.6
(21)	家の人と普段(月～金曜日)、夕食を一緒に食べていますか	91.9	90.2
(26)	家で学校の宿題をしていますか	86.1	89.3
(31)	学校で友達に会うのは楽しいと思いますか	95.4	95.0
(36)	学校のきまりを守っていますか	89.3	86.4
(37)	友達との約束を守っていますか	96.1	95.4
(39)	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか	86.0	86.8
(40)	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	88.7	89.9
(41)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	93.2	93.8
(42)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	91.5	91.5
(43)	あなたの学級では、学級の友達同士で話し合っ学級のきまりなどを決めていると思いますか	80.2	79.5
(44)	「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか	81.5	80.3
(48)	普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか	83.1	74.6
(53)	国語の勉強は大切だと思いますか	90.0	90.0
(56)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	84.1	86.1
(62)	解答を文章で書く問題について、どのように解答しましたか	97.7	96.6
(64)	算数の勉強は大切だと思いますか	88.7	89.8
(69)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	84.4	86.6
(73)	言葉や式を使って、わけや求め方を書く問題について、どのように解答しましたか	97.4	95.9

●「低い傾向」を示した質問項目

質問番号	質問事項	稚内市	北海道
(25)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	58.8	50.3
(27)	家で学校の授業の予習をしていますか	42.2	35.6
(29)	家で苦手な教科の勉強をしていますか	57.8	49.7
(30)	家でテストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか	58.4	53.3
(32)	新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか	55.5	64.4
(34)	学校や塾の先生や家の人以外の地域の大人と一緒に遊んだり、勉強を教えてもらったりすることがありますか	29.2	35.1
(52)	国語の勉強は好きですか	50.3	54.7
(57)	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	59.1	53.4
(58)	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	51.3	53.4
(63)	算数の勉強は好きですか	57.8	60.5
(68)	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	50.7	56.5
(75)	解答時間は十分でしたか(国語B)	41.6	35.2

□その他

質問(9):普段(月～金曜日)、何時ごろ起きますか

区分	午前6時より前	午前6時以降 午前6時30分より前	午前6時30分以降 午前7時より前	午前7時以降 午前7時30分より前	午前7時30分以降 午前8時より前	午前8時以降
稚内市	6.8	35.1	39.9	16.6	0.6	1.0
北海道	10.1	27.0	40.6	19.3	2.5	0.4

質問(10):普段(月～金曜日)、何時ごろ寝ますか

区分	午後9時より前	午後9時以降 午後10より前	午後10以降 午後11時より前	午後11時以降 午前0時より前	午前0時以降
稚内市	10.4	38.0	39.3	10.4	1.9
北海道	7.8	42.3	36.1	10.8	2.9

質問(12):普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか

区分	4時間以上	3時間以上 4時間未満	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	1時間未満	全く見たり 聞いたりしない
稚内市	21.1	19.5	28.6	19.8	9.7	1
北海道	25.5	20.9	24.2	19.3	8.8	1.3

質問(13):普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか

区分	4時間以上	3時間以上 4時間未満	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	1時間未満	全くしない
稚内市	8.1	8.1	16.2	20.8	25.3	20.5
北海道	8.6	8.0	14.3	24.0	29.1	15.9

質問(16):学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか

区分	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
稚内市	4.2	10.7	29.9	30.2	12.3	1.9
北海道	5.0	9.1	27.8	32.2	19.5	6.4

質問(18):学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか

区分	①学習塾に通っていない	②学校の勉強より進んだ内容や、難しい内容を勉強している	③学校の勉強でよく分からなかった内容を勉強している	②、③の両方の内容を勉強している	②、③の内容のどちらともいえない
稚内市	71.1	10.4	3.9	5.5	9.1
北海道	64.0	12.9	7.4	6.2	9.3

② 中学校調査

○「高い傾向」を示した質問項目

質問番号	質問事項	稚内市	北海道
(1)	朝食を毎日食べていますか	91.9	90.9
(2)	学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか	85.9	88.2
(4)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	89.5	89.6
(5)	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか	94.4	93.0
(31)	学校で友達に会うのは楽しいと思いますか	92.2	93.3
(36)	学校の規則を守っていますか	86.7	90.2
(37)	友達との約束を守っていますか	94.7	95.7
(40)	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	89.1	91.1
(41)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	89.1	89.2
(42)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	93.0	91.8
(56)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	84.6	78.4
(62)	解答を文章で書く問題について、最後まで解答を書こうと努力しましたか	93.0	93.5
(66)	数学ができるようになりたいと思いますか	89.1	90.7
(73)	解答を言葉や式を使って説明する問題について、最後まで解答を書こうと努力しましたか	87.4	87.0
(74)	解答時間は十分でしたか(国語A)	94.3	94.8
(75)	解答時間は十分でしたか(国語B)	87.4	86.7
(76)	解答時間は十分でしたか(数学A)	85.6	84.6
(77)	解答時間は十分でしたか(数学B)	83.9	83.4

●「低い傾向」を示した質問項目

質問番号	質問事項	稚内市	北海道
(6)	難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか	57.5	64.7
(7)	自分には、よいところがあると思いますか	54.7	59.9
(15)	携帯電話で通話やメールをしていますか(持っていない・全く、または、ほとんどしていない)	45.7	46.4
(23)	家の手伝いをしていますか	58.2	65.6
(25)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	38.9	43.8
(26)	家で学校の宿題をしていますか	59.3	78.1
(27)	家で学校の授業の予習をしていますか	14.8	22.0
(28)	家で学校の授業の復習をしていますか	44.5	46.2
(29)	家で苦手な教科の勉強をしていますか	39.6	51.1
(30)	家でテストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強をしていますか	43.8	48.5
(34)	学校や塾の先生や家の人以外の地域の大人と一緒に遊んだり、勉強を教えてもらったりすることがありますか	21.8	23.4
(35)	年上や年下の友達と一緒に遊んだり、勉強したりすることがありますか	49.1	46.4
(46)	普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますか	15.5	22.8
(57)	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	40.7	42.9
(58)	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	39.3	41.8
(59)	国語の授業で自分の考えを書くと、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか	56.2	58.1
(60)	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	54.3	62.5
(63)	数学の勉強は好きですか	47.7	48.3
(65)	数学の授業の内容はよく分かりますか	59.0	57.5
(67)	数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	55.8	63.2
(68)	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	22.8	30.2
(70)	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	58.6	59.7
(71)	数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	55.5	62.3

□その他

質問(9):普段(月～金曜日)、何時ごろ起きますか

区分	午前6時より前	午前6時以降 午前6時30分より前	午前6時30分以降 午前7時より前	午前7時以降 午前7時30分より前	午前7時30分以降 午前8時より前	午前8時以降
稚内市	6.0	18.9	31.6	31.9	9.8	1.8
北海道	6.7	17.5	36.0	31.5	7.3	0.8

質問(10):普段(月～金曜日)、何時ごろ寝ますか

区分	午後9時より前	午後9時以降 午後10時より前	午後10時以降 午後11時より前	午後11時以降 午前0時より前	午前0時以降 午前1時より前	午前1時以降
稚内市	1.4	6.3	23.5	35.1	23.5	10.2
北海道	1.2	6.0	23.2	37.1	22.0	10.5

質問(12):普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか

区分	4時間以上	3時間以上 4時間未満	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	1時間未満	全く見たり 聞いたりしない
稚内市	21.8	15.1	27.7	21.4	11.6	2.5
北海道	19.4	18.1	25.5	22.0	12.8	2.1

質問(13):普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか

区分	4時間以上	3時間以上 4時間未満	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	1時間未満	全く見たり 聞いたりしない
稚内市	10.9	13.0	15.8	16.1	23.5	20.7
北海道	9.3	7.4	13.3	18.9	25.0	26.1

質問(16):学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか

区分	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
稚内市	4.6	18.9	29.8	18.2	14.4	14.0
北海道	15.1	23.7	25.1	14.7	10.4	10.9

質問(18):学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか

区分	①学習塾で勉強していない	②学校の勉強より進んだ内容や、難しい内容を勉強している	③学校の勉強でよく分からなかった内容を勉強している	②、③の両方の内容を勉強している	②、③の内容のどちらともいえない
稚内市	63.9	2.8	7.4	11.6	14.4
北海道	44.1	10.7	11.5	22.5	11.1

※「□その他」の質問は、回答に「その他」、「無回答」がある場合、割合の合計が100%とならないことがあります。

(3) 質問紙調査票の項目と正答率との関係

① 小学校調査(抜粋)

質問番号	質問事項	正答率(%)	
		肯定	否定
(1)	朝食を毎日食べていますか(している・全くしていない)	57.8	54.8
(13)	普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか(4時間以上・全くしない)	49.9	59.2
(22)	家の人と学校での出来事について話をしていますか(している・全くしていない)	60.0	44.5
(24)	携帯電話の使い方について、家の人と約束したことを守っていますか(きちんと守っている・守っていない、または、約束はない)	51.8	52.9
(25)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(している・全くしていない)	60.9	48.2
(36)	学校のきまりを守っていますか(当てはまる・当てはまらない)	59.6	49.2
(37)	友達との約束を守っていますか(当てはまる・当てはまらない)	59.1	39.2
(49)	授業では、ノートを丁寧に書いていますか(当てはまる・当てはまらない)	58.4	47.7
(55)	読書は好きですか(当てはまる・当てはまらない)	62.8	48.3

② 中学校調査(抜粋)

質問番号	質問事項	正答率(%)	
		肯定	否定
(1)	朝食を毎日食べていますか(している・全くしていない)	59.0	52.9
(13)	普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか(4時間以上・全くしない)	48.2	64.4
(22)	家の人と学校での出来事について話をしていますか(している・全くしていない)	61.8	47.3
(24)	携帯電話の使い方について、家の人と約束したことを守っていますか(きちんと守っている・守っていない、または、約束はない)	52.2	51.0
(25)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(している・全くしていない)	59.9	54.4
(36)	学校の規則を守っていますか(当てはまる・全く当てはまらない)	54.6	61.2
(37)	友達との約束を守っていますか(当てはまる・全く当てはまらない)	56.5	52.2
(49)	授業では、ノートを丁寧に書いていますか(当てはまる・当てはまらない)	58.7	53.3
(55)	読書は好きですか(当てはまる・当てはまらない)	60.9	46.4

☞ 規則正しい生活習慣は学力にも良い影響を与えています。

☞ 家庭での学習習慣づけが重要です。

☞ 読書(習慣)が学力向上に有効である。

「規則正しい生活習慣の育成」、「家庭学習の習慣化」は、学校での指導に加え、各家庭との一層の連携・協力が必要です。

(4) 学校調査（質問紙調査）

① 小学校調査(抜粋)

質問番号	質問事項	稚内市	北海道
(10)	児童は、熱意をもって勉強していると思いますか	76.9	92.8
(11)	児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	92.4	92.1
(12)	児童は、礼儀正しいと思いますか	92.3	91.3
(18)	「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けていますか	100.0	58.6
(20)	放課後を利用した補足的な学習サポートを実施していますか	84.7	81.1
(21)	土曜日を利用した補足的な学習サポートを実施していますか	7.7	1.5
(22)	長期休業を利用した補足的な学習サポートを実施していますか	46.2	63.1
(66)	PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか	92.3	96.4
(69)	国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	100.0	97.9
(70)	国語の指導として、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか	92.3	96.4
(73)	算数の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	100.0	98.6
(74)	算数の指導として、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか	100.0	96.3

□その他

質問(13):第6学年の児童のうち、就学援助を受けている児童の割合

区分	在籍していない	5%未満	5%以上 10%未満	10%以上 20%未満	20%以上 30%未満	30%以上 50%未満
稚内市	58.3	0.0	0.0	23.1	15.4	0.0
北海道	24.2	5.0	5.9	22.3	20.4	15.9

② 中学校調査(抜粋)

質問番号	質問事項	稚内市	北海道
(10)	生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか	62.5	89.9
(11)	生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	100.0	95.3
(12)	生徒は、礼儀正しいと思いますか	100.0	84.6
(18)	「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けていますか	100.0	65.3
(20)	放課後を利用した補足的な学習サポートを実施していますか	87.5	92.9
(21)	土曜日を利用した補足的な学習サポートを実施していますか	100.0	99.8
(22)	長期休業を利用した補足的な学習サポートを実施していますか	100.0	99.6
(65)	PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか	100.0	92.0
(67)	国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	100.0	87.5
(68)	国語の指導として、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行っていますか	100.0	80.2
(71)	数学の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	100.0	92.7
(72)	数学の指導として、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行っていますか	100.0	79.0

□その他

質問(13):第3学年の生徒のうち、就学援助を受けている生徒の割合

区分	在籍していない	5%未満	5%以上 10%未満	10%以上 20%未満	20%以上 30%未満	50%以上
稚内市	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
北海道	14.2	3.8	9.0	22.3	29.1	17.3



平成 23 年度 全国学力・学習状況調査問題を
活用した北海道における学力等調査結果
～概要と課題、そして改善に向けて～

平成 24 年 1 月作成

稚内市教育委員会学校教育課学校教育グループ

〒097-8686 稚内市中央 3 丁目 13 番 15 号

電話 0162(23)6519 FAX 0162(22)7913